

山の学習【五・六年】

待ちに待った山の学習に五・六年合同で行って頂きました。カレー作りや落ち葉スキーにアスレチック。そして、キャンプファイヤーを楽しみました。学校に戻ると、心に残る一日となりました。

たくさん学んだ飯ごうすいさん

五年

山の学習で心に残っていることは、飯ごうすいさんです。私の担当はカレー作りで、野菜を調理しました。野菜を切るのは楽しかったのですが、じゃがいもの皮をむくのに苦戦しました。いつもはピーラーを使うのですが、包丁で皮をむくことになり、とても難しいということを知りました。班の仲間が起こしてくれた火で調理して完成したカレーは、とてもおいしかったです。仲間と協力する楽しさを味わいました。この経験を生かして、これからも仲間と支え合って生活していきたいです。



【飯ごう炊さん カレー作り】

やつと行けた山の学習

五年

待ちに待った山の学習。飯ごうすいさんでの私の仕事は野菜を切ることでした。玉ねぎを切ると目にしみたり、にんじんの皮は固くて指を切りそうになったり大変だったけど、完成したカレーはとてもおいしくて、がんばったかいがあったなと思いました。落ち葉スキーやキャンプファイヤーなど楽しい思い出ができました。九月の予定が延期になり、中止になってしまいか心配だったけど、行くことができて本当によかったです。

ぼくが班長

五年

ぼくは山の学習で班長になりました。班の点呼や先生への報告、班の仲間が困っていたら手伝うなど、たくさん役割がありとても大変でした。



【キャンプファイヤー】

最初は、ぼくが班長でいいのかなと思いましたが、班のためにぼくができることをがんばりました。仲間と力を合わせてカレーを作ったり、野外活動を全力で楽しんだりして大満足な一日になりました。山の学習は日帰りだったけど、とても楽しかったです。ぼく自身、班長としての役割が果たせてよかったと思います。

いろいろ体験できた山の学習

六年

まず、飯ごう炊さんを行いました。ぼくはまき係と備品係でした。火をつけるためにまきを割りました。まきを割るのに、力はいらないと分かりました。井げたを組み、真ん中に新聞を入れ、その上に細いまきを入れて火をつけると、うまく火が付きました。作ったカレーはおいしかったです。次に落ち葉スキーをしました。ぼくは「イノシシコース」に挑戦しました。スリル満点で一番楽しかったです。泊まりだったらよかったのかなと思うほど、楽しかったです。

みんなで作ったカレー

六年

私が山の学習で一番楽しみにしていたことは、カレー作りです。係に分かれ、みんなで手分けをして準備しました。私はおかず係で野菜を切りました。みんなが食べやすいように、小さく切りました。カレーを煮込むといいにおいができて、早く食べ

たくさんになりました。みんなで助け合いながら作ったカレーは、とてもおいしかったです。みんなカレーを食べるとにこにこしていて、うれしくなりました。

きずなが深まった山の学習

六年

私は、カレー作りとキャンプファイヤーが楽しみで、前日なかなかむれませんでした。当日、山のお兄さんたちから飯ごう炊さんの仕方を教えてもらい、カレー作りを始めました。私はまき係でした。まきを切り終わった後、ごはん係の手伝いをしました。みんなでがんばった結果、すごくおいしいカレーができました。キャンプファイヤーでは、先生たちの劇がおもしろかったです。この思い出は、中学校に行っても忘れません。



【5・6年合同 山の学習】

いじめを考えるときなんつ子人権集会(四・五・六年)

十二月十四日に「いじめを考えるときなんつ子人権集会」を行いました。友達と話し合う中で、いじめと向き合う「自分のあるべき姿」をイメージしました。集会の中で、保護者の皆様からいただいた「愛のメッセージ」をイメージしながら読み上げていただきました。子どもたちの率直な思いを聞くことができ、有意義な時間となりました。

ぼろぼろ人権集会

四年

四、五、六年生で人権集会をしました。「わたしのいもうと」という話を聞きました。その話はいじめについてでした。悪口など、いろいろ言われて最後に死んでしまい、なみだが出そうになりました。最後に「愛のメッセージ」を聞きました。わたしは、その一文字一文字に感動してがまんしたなみだがぼろぼろと出てきました。こんなふうによさしい言葉がいっぱいあるのだなと思いました。わたしは、何があっても悪口を言わないで笑顔で毎日楽しくすごすことがどれだけ大切かを学びました。



【感想を発表する5年生】

悲しいと思った人権集会

四年

ぼくは、人権集会でいろいろなことを学びました。特に心に残ったことは、「わたしのいもうと」です。いじめで死につながってしまったことはとてもこわいことです。だから、友達や他人の心もきずつけないようにして、良い心をもって、たがいにあやまることができるようになりたいと思います。これから、人権集会で学んだことを生かして、みんなが笑顔でいられる学校を作り、楽しくすごせるようにがんばりたいです。

心にささった言葉は

五年

私は、ナレーターのあいこさんに読んでもらった「わたしのいもうと」を聞いたとき、とび箱が起きないことや言葉のことでいじめが起きてしまうといういじめの残こくさを知り、胸がぎゅつとつかまれるような痛みを感じました。自分のこととして置きかえたら、とてもつらく悲しい気持ちになりました。いじめのつらさやこわさは、本人にしか分かりません。でも、気付いて助けてあげること

はできるかもしれません。これからは、困っている友人がいたら自分から声をかけて助けてあげたいです。



【積極的に挙手をする子どもたち】

いじめのこわさ

六年

「一番こわいのは、いじめていると思っていないこと」という言葉が心に残っています。いじめている側はただのいじりであつても、いじめられている側はつらい思いをします。心の傷は消えませんが、いじめられている子は、助けてほしいと思つていらずです。人権集会で話し合つて通して、私はただ見ているのではなく、いじめられている子を守る人になりたいと思いました。



【司会進行を務める6年生】

自分たちができること

六年

人権集会の朗読にあつた「わたしのいもうと」でぼくが思ったことは、みんな個性がちがうのになぜいじめが起きてしまうのかということ。どれだけ声や話し方が変わったとしても、運動ができなかったとしても、それを否定するのはいけないと思います。少しからかっただけでも、言われた側はずっと心にきずが付きまします。ぼくも、もしかしたら気付かないうちにいやな思いを仲間にかけて生活していききたいです。

「わたしのいもうと」という話を聞いて、いじめられている子は苦しんでいるのに、いじめつ子はのんきに学校に通つていふことに對して、許せない気持ちになりました。ときなんでも、このようなことが起こらないよう自分たちができることを考えました。私は、放課などに一人で悲しんでいる子がいたら、自然に仲間に入れてあげられるクラスにしたいなと思つた。自分たちでいじめをなくす方法を考え、実行していくことで、つらい思いをする子が少しでも減るようにしたいです。

マラソン大会

たマラソン大かい

一年

十二月二日に、マラソン大かいをしました。スタートのとき、ピストルの音が大きくて、びっくりしました。さかで、おかあさんたちがいっしょうけんめいおうえんしてくれたので、本気を出してはりました。さかをのぼるときに、手をいっぱいふって、さいごまでがんばりました。そうしたら、十五いになりました。十いには入れなかつたけど、がんばってはしたのでうれしかったです。

うれしかったマラソン大会

二年

スタート前は、きんちようしてました。だけど、スタートして走っていたら、どんどん楽しくなってきました。走るリズムもよくなり、下りさかでスピードも出てきたので、ガードレールのところで前を走っている子を一気にぬかしました。ここで一位になりました。その後も、自分のペースでゴールまで走り切れました。きよ年は二位でくやしかつたけど、今年是一位になれてうれしかったです。

目ひように向かつて走る

三年

ぼくは、四分台を目ひようにして、

毎日運動場を八周以上走りました。大会では、五分五秒で少し目ひようにとどかずにがっかりしたけど、新きろくでうれしかったです。来年も新きろくを出すために、四分三十秒を目ひようにして、がんばって走りたいです。



【はじめてのマラソン大会 スタート！】

がんばったマラソン大会

四年

マラソン大会をしました。はじめに三年生がやりました。見ているだけでどきどきしてしまいました。次は、わたしたちの番です。体そうが足りないと思います、もう一度やりました。ピストルが鳴って一気にスタート。自分のことに集中していました。一周走ってつかれてしまい、二周目にくたくたでした。でも、お母さんやお父さんたちのおうえんのおかげで走ることができました。坂のところでは足がいたくて少し歩いてしまったけど、おうえんでなんとか乗りこえることができました。

やればできる

五年

ぼくは走るのは得意ではありません。だけど、クラブチームで走り込みをしたり、自主練習で走ったりして体力をつけたら、試走で順位が上がりました。本番も、がんばれば十位に入れるかもしれないと思い、スタートしました。あと少しで十位の子を抜けそうだったのに、最後は抜けなかつたので、とてもくやしかつたです。来年のマラソン大会では、さらに順位を上げたいです。



【もうすぐゴール！】

目標達成

六年

私は、マラソン大会に向けて目標を決めました。その目標は、女子五位以内、総合十位以内です。健康かけ足も毎日必死にがんばりました。そしてむかえた当日。みんなが走っているのを見ると、心臓がどきどきしました。いよいよ六年生の番。私は一生懸命走りました。ときなん坂を登るときが一番つらくて、途中であきらめそうになりました。しかし最後まで走り、九位でゴールできました。女子では四位。すべての目標を達成できました。最後のマラソンも悔いのない結果を出せてうれしいです。

◆マラソン大会結果◆

【二年】

1位 女子
2位 4位

【三年】

1位 女子
2位 3位
3位 5位

【四年】

1位 女子
2位 4位

【五年】

1位 女子
2位 4位

【六年】

1位 女子
2位 3位
3位 4位

常磐南学区地域防災訓練

十二月十九日(日)に岡崎市地域防災訓練が行われました。八時のサイレンで訓練開始です。各地区の副総代さんを中心に、避難場所である小学校に集まりました。その後、避難所運営、健康チェック、応急処置、初期消火等の訓練を体験しました。最後に消防団の皆様による放水訓練を見学し、無事、全ての訓練が終了しました。



【避難誘導訓練】



【シェイクアウト訓練】



【常磐消防団による放水訓練】

和太鼓寄贈

様から、和太鼓一式(長胴太鼓、締太鼓)を寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



【和太鼓 お披露目】

おめでとう

◆市作文コンクール入選

◆明るい選挙啓発ポスターコンクール特選 五年

◆環境ポスターコンクール 優秀賞 三年

◆食育ポスターコンクール 優秀賞 六年

◆入選 三年

◆社会を明るくする運動作文コンテスト 佳作 五年

◆税に関する標語

税連会長賞 六年

常南の心

置かれた場所で

咲きなさい



この言葉に出会ったのは、大学生の時。その頃の私は、養護教諭の勉強を続けていくことに希望が持たず、大学を辞め、幼い頃から憧れていた看護師の資格を取得するため、受験をし直そうかと、進路に悩んでいました。ふさぎ込みがちな日々を送っていた時に、ふと耳にした言葉が、「置かれた場所で咲きなさい」でした。これは、ノートルダム清心学園理事長だった渡辺和子さんの言葉で、以下のように続きます。「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。時間の使い方は、そのまま、いのちの使い方です。自らが咲く努力を忘れてはなりません。」この言葉に、自分自身が、これまでどれほど傲慢だったかを痛感しました。両親のおかげで、大学に、通わせてもらっている身でありながら、与えられた環境が、自分の理想と違うからと、不平不満をつのらせ、前向きに生きる努力すら怠っていたことに気付いたのです。この言葉に出会い、気持ちを切り替えることができました。私は、これまでの日々を反省し、大学で前向きに学ぶことができるようになりました。今も、上手いかわないことがある度に、この言葉を思い出します。「置かれた場所で咲きなさい。どうしても咲けない時は、根を下へと下へと伸ばしましょう。次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるように。」

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
児童集会 委員会			読み聞かせ ALT ST	文化事業鑑賞会 水曜日課	五時間授業 一斉下校	ALT サイエンスセミナー6年	月曜集会 委員会			読み聞かせ ST 税の授業6年		ALT	ALT	振替休日	校内書き初め展	授業参観 全校レク逃走中	ST		ALT	避難訓練週間開始	給食開始 ALT	成人の日	予備日	PTA資源回収	始業式 書き初め会		仕事始め			元旦



行予事定